

1

センター  
活用事例

人材活用



葦島俊和さん(左)と藤原鈴司工場長

プロジェクトの中心メンバー。  
お互いをニックネームで呼び合う。

日常的に目にする商品パッケージや  
宝くじ等の印刷機械を製造。



「いい仲間に出会えました」と  
藤原さん

## 人との出会いで新事業加速 世界初のプロジェクト、進行中

### 宮腰精機株式会社 国見工場

〒019-1605 秋田県大仙市太田町国見字稻荷堂 TEL.0187-88-1808 FAX.0187-88-1319  
<https://miyakoshi.co.jp/>

#### 世界初の印刷機製造を目指す

経営転換や新商品開発など、新規事業に欠かせないのが、キーマンとなる“人材”。印刷機械の製造販売を行う株式会社ミヤコシの製造拠点である宮腰精機株式会社国見工場では、従来型の「採用」とらわれない柔軟な形態で外部人材を活用し、世界初の“AI(人工知能)搭載のアナログ印刷機”の開発に取り組んでいる。「アナログ印刷機にAIを載せたら面白いかも」という藤原鈴司取締役工場長の発想を具現化するため、昨年、プロフェッショナル人材戦略拠点を通じて県主催の人材マッチングイベントに参加。そこで出会った葦島俊和さんを迎え、初の工場発の開発プロジェクトを今年の4月にスタートした。「生産効率の高い、使いやすい印刷機を作り、ベテランオペレーターや保守人員が不足している印刷業界を支えたい。葦島さんに出会って、プロジェクトに追い風が吹き始めました」と藤原工場長は笑顔を見せる。

#### 企業を成長させる“プロ人材”との出会い

葦島さんはソニー株式会社出身で、デジタルコンテンツ配信のためのジョイントベンチャー立ち上げなど、業種をまたぐシステム、開発から発展的な運用までの課題管理や調整業務に長年携わってきた。現在は都内で他の仕事を手掛けながら、本プロジェクトの定例WEB会議出席の他、月に1週間ほど秋田に滞在している。葦島さんが持つ高度な知見と広い人脉は、プロジェクトの大きな推進力となっているだけでなく、社員たちの意識にも変革を起こしつつある。「まだまだ奥ゆかしいけれど、みんな前向きで、徐々に自ら発信するようになってきた。ノウハウや経験をAIが補完し、AIを使いながらオペレーターが成長していけるような印刷機をつくりたい」と葦島さんは話す。藤原工場長が命名した「aiR(愛あーる)project」の目標は、2022年の国際展示会への出展だ。絶対に成功させたいですね、と2人は笑いあう。秋田から印刷業界の革命を目指し、同社の挑戦は加速していく。

活用事例

秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点

「攻めの経営」への転換や経営改善に意欲的な企業が、事業展開において必要とする“プロフェッショナル人材”の獲得を支援します。

お問い合わせ 秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点 TEL.018-860-5624